



岩下徹ダンスワークショップ

少しずつ自由になるために

—自己とむきあう、他者とかかわる—

2017.3.13 (mon), 14 (tue)

19:00-21:00 ※受付は18:40より行います。

まつもと市民芸術館 スタジオ2

料金：無料(要予約)

対象：高校生以上(ダンス経験の有無は問いません)

定員：20名

※定員に達した場合は受付を締め切らせていただく場合がございます。

※2日通しの内容となっておりますが、1日だけのご参加も可能です。

※動きやすい服装でお越し下さい。

【企画】北村明子(信州大学人文学部准教授)、信州大学人文学部芸術コミュニケーション分野 北村ゼミ

【企画モデレーター】中山佐代

【主催】信州大学人文学部芸術コミュニケーション分野、一般財団法人松本市芸術文化振興財団

photo : Toshihiro Shimizu

「少しずつ自由になるために」

ある時、「あなたにとってダンスとは何ですか」とたずねられたことがありました。その時、私は、「ダンスとは少しずつ自由になっていくことです」と答えました。私自身がそうだったからです。このことを知るまでに何年もかかってしまいましたが、これは誰かに教わったのではありません。

私は小さい時から不器用で、まともなことはほとんどできませんでした。今でもたいして変わりはありません。ただ、踊ることで、かろうじて世界とつながっていられるのです。こんな私ですから、技術的にむずかしいことはできません。ただ、本当に感じられることを、ゆっくり、丁寧にやっていきたいのです。わずかでもけっこうです。少しずつ自由になることのきっかけをつかんでいただければ幸いです。

岩下徹

即興ダンスをソロで行いながら、国際的な舞踏集団(山海塾)のダンサーとしても活動されている岩下徹さんをお招きしてダンスワークショップを開催します。岩下さんがソロ活動で追求されているのは「交感(コミュニケーション)」としての即興ダンスの可能性や、自己の身体との出会い直しです。いちばん身近にある「からだ」に耳をすませ、出会い直してみませんか。

まず、床にゆったりと寝転がり、からだを緩めることから始めます。そして、寝返りを打つ、座る、立つ、歩く、寝転がる、といった簡単な動きを、その速度や質感を変えながら行います。ゆっくりと自分のペースで動きながら、日常生活では忘れていた自分のからだの感覚、そこから生まれる心の動きに耳をすましていきます。最初は一人の動きから始め、少しずつ2人組、グループなど周囲との関係の中で動きを発見していきます。

—芸術ワークショップ演習ゼミについて—

信州大学人文学部芸術コミュニケーション分野では、舞踊・美術・音楽を中心とする様々な領域における芸術を、複数の立場・視点から学んでいます。当分野の中でも、北村明子准教授によるゼミでは、芸術表現の中の身体表現と舞台芸術に焦点を当て、実践的にアートマネジメントを学びながら地域とアートを繋ぐ活動を行っています。2008年度から活動を始め、昨年度は演出家・相模友士郎氏を招聘し、演劇作品のクリエイションを行いました。

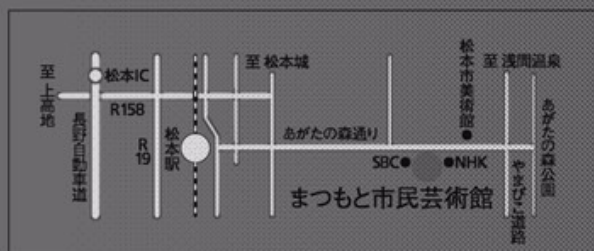
Webサイト <http://kitamurawszemi.tumblr.com/>
Facebook <https://www.facebook.com/artcomkws>
Twitter @kitamurazemi

予約・お問い合わせ

TEL... 090-4496-3512(ナカヤマ)
MAIL... kitamurawszemi@gmail.com

※ご予約の際は、件名を「岩下徹ダンスワークショップ申込」とし、

①お名前 ②お電話番号 ③人数 ④ご参加の日程をお書き添えください。



バス：JR松本駅お城口（東口）、駅前バスターミナルから「市民芸術館」下車
徒歩：JR松本駅お城口（東口）からあがたの森通りをまっすぐ東へ800m、徒歩10分
*駐車場の用意はございません。公共交通機関や有料駐車場をご利用ください。
*近隣商業施設等への無断駐車は他のお客様のご迷惑になりますのでご遠慮下さい。

まつもと市民・芸術館
Matsumoto Performing Arts Centre

〒390-0815長野県松本市深志3-10-1
TEL. 0263-33-380

design: Asuka Furuta



岩下徹プロフィール
舞踏家/即興ダンス、山海塾舞踏手。

ソロ活動では〈交感(コミュニケーション)〉としての即興ダンスの可能性を追求。1957年東京生まれ。82~85年石井満隆ダンスワークショップで即興を学び、83年ソロ活動開始。かつて精神的危機から自分のからだを再確認することで立ち直ったという経験を原点とするソロダンスは、等身大のからだひとつで立つことから始まり、場との交感から生まれる即興として踊られる。1989年より滋賀県/湖南病院(精神科)で医療の専門スタッフと共にダンスセラピーの試みを継続中。日本ダンスセラピー協会顧問。桜美林大学、神戸大学、滋賀県立総合保健専門学校非常勤講師。日本即興協会会員。(財)地域創造/公共ホール現代ダンス活性化支援事業登録アーティスト。